

会 議 録

会議の名称	那珂川町子育て支援推進協議会		
開催日時	平成 29 年 11 月 28 日(火) 15:00 ~ 16:30	開催場所	那珂川町役場 第 2 別館大会議室
出席者	<p>1. 委員 秋峯委員、飯田委員、江島委員、緒方委員、萬委員、唐崎委員 Winters 委員、大谷委員、足立委員、平島委員</p> <p>2. 町(事務局) 中村子育て支援課長、長田子育て支援課長補佐兼子育て支援担当係長、 天野社会教育課長補佐兼社会教育担当係長、(子育て支援担当職員)永野</p>		
配布資料	<p>資料 1-1: 那珂川町子育て支援推進協議会委員名簿</p> <p>資料 1-2: 那珂川町子育て支援推進協議会の概要</p> <p>資料 1-3: 那珂川町子育て支援推進協議会設置条例</p> <p>資料 1-4: 那珂川町認可保育所及び認定こども園の入所状況と申込み状況</p>		
<p>議題及び審議の内容</p> <p>1. 委嘱状交付</p> <p>2. 副町長あいさつ</p> <p>3. 委員自己紹介・事務局紹介及び子育て支援推進協議会についての説明</p> <p>4. 会長、副会長の選任</p> <p>5. 報告</p> <p>(1)認可保育所の入所状況について (説明:事務局) 平成 29 年 11 月 1 日現在の待機児童の状況と、平成 30 年度保育施設入所申込状況を報告した。 【質疑・意見等】 異議なく終了</p> <p>(2)母子手帳アプリ nobinobi について (説明:事務局) 平成 29 年 10 月より運用を開始した母子手帳アプリ nobinobi (のびのび) について運用内容を報告した。 【質疑・意見等】 (委員)母子手帳アプリの情報発信の中に、町内の飲食店でキッズルームや赤ちゃんの入店ができる飲食店の情報を発信する予定はあるのか。 (事務局)現状、検診の案内等の役場からの情報のみとなっている。飲食店の情報等は予定していない。</p>			

(委員)アプリの情報更新の頻度や、情報の充実や内容に住民がどのように関わっていくのか。また、ファミリーサポートセンターのことも載せてほしい。問い合わせ、相談件数は増えているが料金が合わないとか、高いとのことで利用に繋がらないことが多く、実数より相談件数の方が多い。大野城市は相談件数と実数が比例している。ファミリーサポートセンターの利用促進の為に分かりやすく情報を載せてほしい。

(事務局)母子手帳アプリについてはこども応援課が管轄している。アプリ情報更新の頻度については、この場で回答することができないが、質問内容についてはこども応援課へ伝える。現在、母子手帳アプリの内容は那珂川町役場のホームページとリンクするようにシステムを組んでいる。つまり、ホームページ上で更新があれば、母子手帳アプリにも反映されるようになっている。より良いものを作るためにも住民の意見を取り入れることを検討するよう伝える。ファミリーサポートセンターの件についても、併せてこども応援課へ伝える。

(委員)ポータルサイトは住民で作っていくことが大切なので、住民が参加しやすい場を提供していただきたい。

(委員)自治体情報の中で、各行政区の子育て広場の情報も発信してほしい。

(事務局)そこも含めて、こども応援課へ伝える。

(委員)登録人数・利用状況や利用者の意見等についても、今後協議会で報告してほしい。

(事務局)登録人数や利用者状況等については、サイトを運営しているこども応援課で集計する予定なので、新年度の協議会の中で報告していく予定。

(3) 新 土曜日の学校開放について

(説明:事務局)

平成 29 年 10 月 28 日から実施した新 土曜日の学校開放について、実績報告と前回協議会での質問事項の回答を行った

(前回質問事項)タブレット活用について

(回答)受付等をタブレット活用することは可能であるが、事業を委託しているため個人情報の取扱いの観点から検討中。現在は受付時に記入してもらう方式をとっているが、特段問題ない状況。

(前回質問事項)各小学校の児童のみを対象としている件について

(回答)小学校担当者と協議したところ、児童のみ参加の場合は校区内での活動が原則であるとのこと。社会教育課としても校区外の児童を受け入れることは困難であると認識している。しかしながら、当日来た児童が校区外であったとしても個別に対応する方針。

(前回質問事項)自由遊びの遊具について

(回答)遊具については、社会教育課で準備する。準備している遊具は、バドミントンセット、フリスビー、ドッジボール、バレーボール、バスケットボール、縄跳び、大縄跳び、大きな風船。また、要望があれば充実させる予定。

【質疑・意見等】

(委員)地域の説明は各行政区に行ったのか。

(事務局)その通り。まずは代表区長会で説明し、その後各区長へ再度説明を行った。

(委員)学童との連携についてはどのようになっているのか。

(事務局)学童の子どもについては、外出扱いとして本事業に参加する。受付時に、学童の子どもとそれ以外で分けて、終了時には学童の子どもは一緒に学童に帰るかたちを取る。

(委員)支援スタッフの配置は各小学校に1人の配置なのか。

(事務局)支援スタッフは委託している。各小学校 3 人ずつ配置する。その内の 1 人がコーディネータとして最初から最後まで常駐する。他 2 人が 8 時 30 分～12 時まで配置される。

(委員)その中に、地域の人がボランティアスタッフとして入ることもあるのか。

(事務局)将来的にはある。

(委員)学習支援や、運動支援も支援スタッフが行うのか。

(事務局)その通り。しかしながら、支援スタッフは学校の先生ではないので、自主学习している子どもの見守りを行う。支援スタッフが学習指導は行わない。

ラグビー教室等の運動支援は体育協会の団体を招致して指導いただく。支援スタッフは補助的な役割を担う。

(委員)利用申込について予約等は必要か。

(事務局)事前予約は必要ない。当日自由に来ることが可能。しかしながら、安全面を考慮して受付を行い、氏名、電話番号、保護者名等を記入してもらっている。

(委員)配慮が必要な子どもが参加する場合、支援スタッフの加配はあるのか。

(事務局)そこまでの議論は至っていない。今まではそのような事案は発生していないが、今後は検討していく必要があると考えている。

(委員)片縄小学校は校舎の中にある多目的室を使用するようになっているが、安全面は大丈夫なのか。

(事務局)多目的室と校舎は分かれており、多目的室以外は入れないようになっている。

(委員)南畑小学校で実施する際、使用する場所は南畑公民館、運動場、体育館となっているが、支援スタッフは3名だが、各1名をそれぞれの施設に配置するのか。

(事務局)使用する場所は1カ所。つまり、体育館で運動する場合は全員参加してもらい、運動場、公民館は使用しない。また、運動場から公民館へ移動する場合は全員で移動する。

(委員)こういった事業は是非良い形で繋がってほしいと思う。しかし、勉強嫌いになる子ども、スポーツ嫌いになる子どもは、やらされていると思うと嫌になる。子ども達が自ら取り組んでいくという姿勢を作っていくことができれば、多くの参加者が出てくると思うので配慮願いたい。

(委員)皆同じ行動をするということは、やりたくない子どもも出てくると思う。学校開放に来るということは、皆自発的に遊びたい、何かやりたいと思って来ているので、そこを大切にしてもらいたい。

(事務局)確かに、誘っても帰る子どもも過去いたのでそのように努めていく。

(委員)いろいろなスポーツをやる場合も、指導者の言動が子どもの取り組み方の大きなポイントになる。そこを留意した上で事業を行えば参加者が増えて、より効果的な事業になるので是非配慮願いたい。

6. 質疑応答

(委員)町立幼稚園の延長保育を実施する予定はないか。また、病児保育を行う病院が増える予定はあるのか。

(事務局)現状、町立幼稚園での延長保育を実施する予定はない。今後については、議会答弁でも回答している内容になるが、町立3園については教育委員会の方針において、順次民間移譲または統廃合するという大きな方針がある。その方針に沿った具体的な今後の実施計画を、平成29年度中に定める予定にしている。また、病児・病後児保育についてはこども応援課が所管になるが、現在、かく小児科のみとなる。現状では、概ね施設としては充足している状況であるが、市制施行にあたって人口の増加も予想されることから、こども応援課で検討中。

7. その他

(1) 次回以降の開催日程について

(説明:事務局)

平成29年度の協議会については、今回が最後。次回は平成30年度になるため、改めて日程調整を行う。

(2) 議事録の公開について

(説明・事務局)

会議録については、事務局が作成し会長に確認していただいたうえで公開する予定。
⇒公開について、異議なく了承

(3) 平成 30 年度の協議会について

(説明・事務局)

平成 30 年度は那珂川町第二次次世代育成支援地域行動計画の後期計画に向けて、住民アンケートを実施する予定。
併せて、平成 29 年度の実績報告を行っていく。